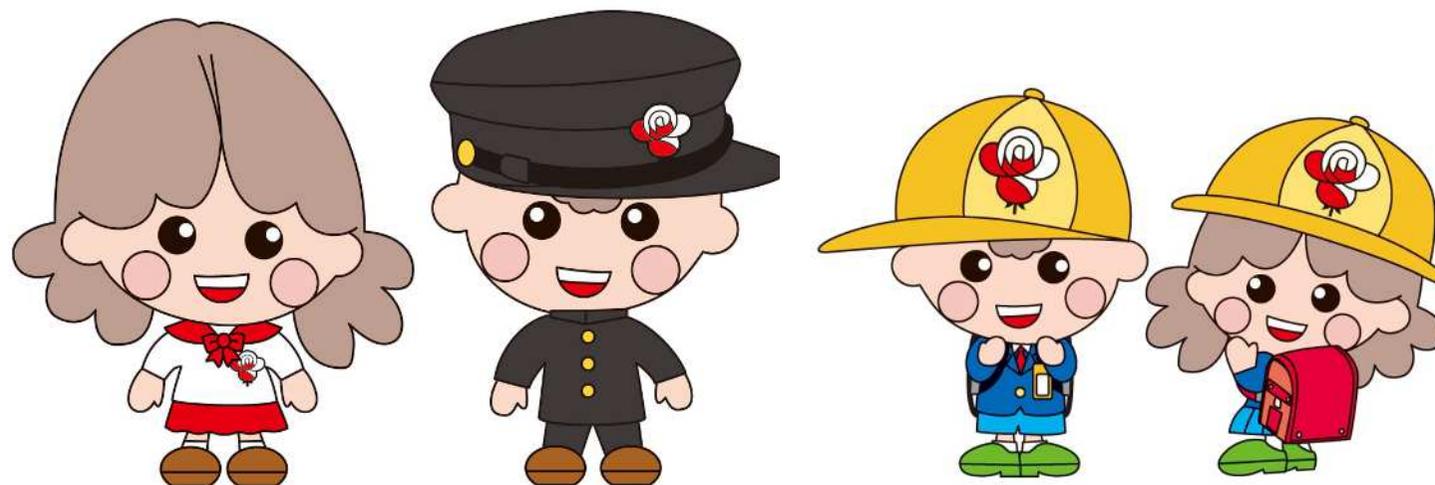


北区教育会議



北区キャラクター のんちゃん・すーちゃん

平成27年12月8日(火)午後7時～
大阪市北区役所 4階402会議室

区教育会議について

- ・ 分権型教育行政について
（教育会議の主旨・目的）
- ・ 北区教育会議開催要綱について

分権型教育行政について

教育行政において「市政改革プラン」のニア・イズ・ベターを徹底

区担当教育次長（区長）の設置

保護者、区民の教育に関する意見や学校の状況を把握

学校等への教育環境支援

区教育行政連絡会

区担当教育次長（区長）が、区内各校長と連絡調整・意見交換を行う。

区教育会議

区担当教育次長（区長）が、保護者・地域住民に教育施策等について意見を聴く。

北区教育会議開催要綱について

委員

定数 9名
保護者
地域住民

任期等

- ・ 1年任期
- ・ 3回以上の再任不可

会議

- ・ 原則公開
- ・ 議事要旨公表

区が所管する教育の振興に関する施策・事業等



委員から意見・評価を聴取

本市教育関係施策について

- 学校適正配置
- 学校選択制
- 中学校給食
- 学校図書館の活用促進

学校適正配置について（１）

- 学校の規模について
 - 1 大規模校（25学級以上）
（国の基準における大規模校）
 - 2 適正規模（12～24学級）
 - 3 小規模校（11学級以下）
学校統廃合、校区変更など

学校適正配置について（２）

適正配置対象校の分類基準

- 分類 Ⅰ : 速やかに統合に向けた調整を進める必要
 - 分類 Ⅱ ~ Ⅳ : 今後の児童数を注視し、順次取組に着手
 - (分類 Ⅴ : 今後、7学級以上11学級以下が見込まれる)
- 北区においては、分類 Ⅰ が4校 Ⅱ が2校

・北区内は大型住宅の建設が進んでおり、どの小学校も児童は増加傾向にある。

・北区の小学校は校舎や運動場面積が小規模であり、物理的にも統合が困難。

・長期的には対象校に該当しなくなる可能性が高いことから、今後も児童数等の推移を見守る必要がある。

学校選択制について（１）

H24.10「就学制度の改善について」
（教育委員会）

学校選択制の期待されるメリット

- a 子どもや保護者が意見を述べ、
学校を選ぶことができる
- b 子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つ
- c 特色ある学校づくりが進められる
- d 開かれた学校づくりが進む

学校選択制について（２）

- 北区における学校選択制
 - 中学校：平成26年度入学者から導入
自由選択制
（区内５校のうちから選択）
 - 小学校：平成28年度入学者から導入
ブロック選択制
（中学校下の小学校から選択）

学校選択制について（３）

- 市全体の学校選択制の実施状況
（保護者アンケート結果等）

校区外の学校を選択した割合

	校区外希望者	校区外就学決定者
小学校	5 . 3 %	4 . 6 %
中学校	4 . 0 %	3 . 1 %

アンケートによる校区外の学校を選択した理由の上位

- ・ 小学校：自宅から近い、学校の校内環境（校風・伝統・雰囲気等）友達と同じ学校へ行く、通学上の安全、教育方針や教育内容
- ・ 中学校：学校の校内環境（校風・伝統・雰囲気等）、教育方針や教育内容、やりたい部活動、自宅から近い、学力調査・体力調査の結果（平成27年度入学児童の保護者）

中学校給食について（１）

- 主旨・目的等

必要な食事摂取基準や栄養バランス、安全面、衛生面に十分に配慮した給食の提供により、心身の成長が著しい時期をサポートするとともに、生涯を通じての健康的な食生活への理解を深め、自己管理能力を養う。

- 北区における導入経過

（ 平成26年度 1年生から導入
平成28年度には全員喫食に ）

中学校給食について（２）

- 課題等
 - おかずの冷たさを残食の理由とする生徒が多い。
 - アレルギー対応の充実
- 改善策
 - （親子方式の試行：長池小学校 昭和中学校）
 - モデル事業を検証し、
 - 現在の小学１年生が中学校へ入学するまでに
 - 市内全中学校での親子方式
 - （もしくは自校調理方式）に移行する方針

学校図書館の活用推進について

開館日数や回数を増やし魅力ある図書館づくりを行うことで、児童生徒の読書活動を推進し、学力向上を図る。

教育委員会事業

学校図書館整備

大阪市図書標準に達してしない小中学校に対して、必要な図書購入費を配当する。

大阪市図書標準冊数

小学校 7,000冊

中学校 8,000冊

学校図書館補助員・コーディネーターの配置

学校図書館の開館日数を増やすとともに児童生徒の読書活動を推進する魅力ある学校図書館づくりを行うため、学校図書館補助員を配置する。また、学校図書館補助員を統括し、有効かつ計画的な取組となるよう、活動のコーディネートを行う学校図書館補助員コーディネーターも各区図書館に配置。

北区の取組みについて

- 1 発達障がいサポート事業
- 2 合同演劇鑑賞
- 3 熱中症対策としてのミスト配置

発達障がいサポート事業〔区長によるマネジメント〕

概要

小・中学校に在籍する発達障がいのある児童生徒のなかで、行動面で特に支援の必要なADHD等による重度の児童生徒に対し、区長のマネジメントにより適切な支援を行う。

現状と課題

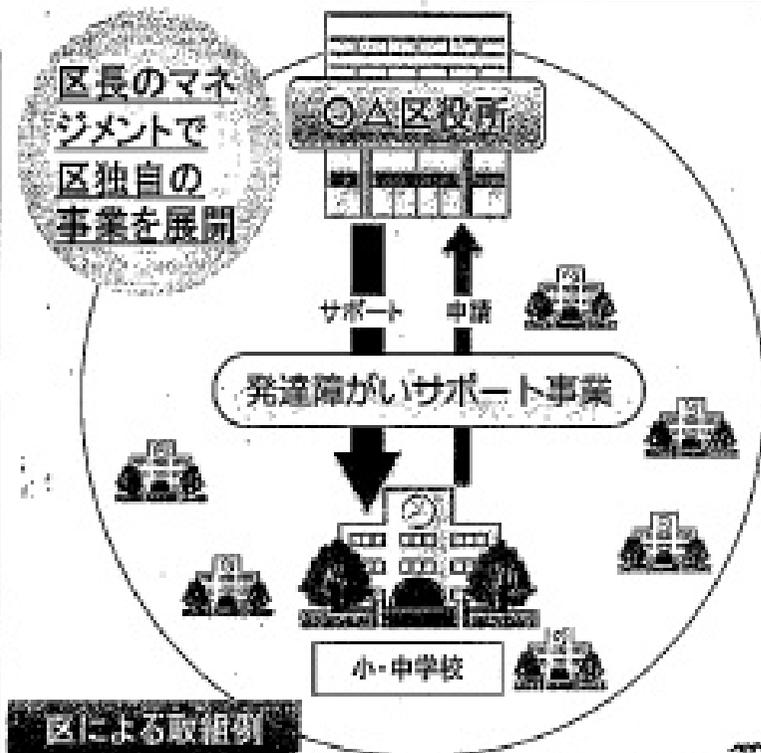
●通常学級に在籍する発達障がいのある児童生徒に対し、ADHD等により障がいの状況が重度で行動面に課題がある児童生徒に対する、授業はもとより学校生活全般における支援について要望が高まってきている。また、遠足や社会見学等の校外学習時における安全確保や危険に対する指導、社会性を育てる適切なサポートに対し、ニーズが高い状況である。

取組内容

◆小・中学校に在籍する発達障がいのある児童生徒の生活上の行動面に対して、ソーシャルスキルを含む社会性や対人関係の構築への適応に向け、学校と連携しながら適切なサポートを行う。

効果

- 発達障がいのある児童生徒が、学校生活を含む地域での生活に密着した、よりきめ細かい支援を受けることができる。
- 地域の関係機関の連携強化
- 申請等を通じ、区長と学校との間で現状の共通理解が図られ、区長が区の小・中学校の状況を把握し、情報共有することができる。



区による取組例

発達障がいサポート

サポートの対象となる児童・生徒への支援内容

- ・ 給食・休み時間等の校内授業外における支援
- ・ 土曜授業や夏季プール水泳等での支援



- ・ 登下校の支援
- ・ クラブ活動や放課後の校内課外活動での支援
- ・ 遠足・社会見学・修学旅行等の校外学習での支援
- ・ 運動会や学芸会などの校内実施行事での支援
- ・ 給食・休み時間等の校内授業外における支援
- ・ 土曜授業や夏季プール水泳等での支援

合同演劇鑑賞



合同演劇鑑賞（２）

- 区内では小規模な学校が多く、従来は各校で実施していた演劇鑑賞が困難になっているという声を受けて、区の学校教育活動支援事業として合同で開催。
- 10月最終週に、北区民ホールで4日間計8回開催
（意見など）
- 学校の予算面から区で合同開催することはありがたい。
- プロジェクトによる字幕配置の配慮がよかった。
- 子どもたちにとっては良い取組である。
- 日程調整が困難
- 移動に時間がかかり、低学年は特に大変
（遠い学校は、授業時間や給食時間にも影響がある）
- 高学年と低学年で内容を変えてほしい。

熱中症対策としてのミスト配置



ミストの用途、学校の声

「熱中症対策に有効で、子ども保護者から好評」
体育大会・運動会及びその練習期間
部活動（運動場・体育館） ほか

「クーラー使用よりも光熱費を削減できる」
教室、技術室等の空調
教員・保護者の会議・作業 ほか

「地域との連携行事で住民から好評を得た」
夏祭り、校庭キャンプ、PTA行事、敬老会
防犯パレード ほか

その他「重いため、移動が大変」
「電源の確保」 延長コードを追加配置

北区の今後の取組予定

学校教育環境支援

- ・ 合同芸術鑑賞
- ・ 発達障がいサポート
- ・ 特別講師派遣（部活動等）
- ・ 学校図書館備品整備
- ・ スクール・ソーシャル・ワーカー



意見・質疑

引き続き、北区の学校の学習環境を
良くするために地域住民・保護者の
皆様のご協力をお願いいたします。